

第25回秋田県特別支援学校総合体育大会 「ネオホッケー競技」実施要項

- 1 日 時 令和8年9月11日(金) 10:45～14:30
- 2 会 場 秋田市立体育館 サブアリーナ
- 3 監督会議 実施する【時間と場所は後日伝達する。※目安10時10分頃】
- 4 競技規則 日本フロアボール連盟「ネオホッケー競技ルール」及び秋田県特別支援学校総合体育大会申し送り事項による。

5 競技方法

(1) 競技形式

- ・トーナメント方式で行う。
- ・昨年度優勝校・準優勝校はシードとし、違うブロックに入ることとする。
- ・3位決定戦は行わず、1回戦敗退チームによる交流戦を実施する。

(2) チーム編成

- ・試合は6人対6人で行う。
- ・競技には、中学部および高等部の生徒が出場できる。
- ・エントリーは、原則1校1チームとする。
- ・ゲームには、5名以上のプレイヤーがいればよいものとする。4名以下になった場合、その時点で競技を終了する（4名でも交流戦への出場は認めるものとする）

(3) 競技方法

- ・前後半7分、ハーフタイム2分で競技を行う。
- ・交流戦は前後半5分、ハーフタイム1分で競技を行う。
- ・同点の場合は、ペナルティストローク戦を行う。(先に1点差がついた段階で勝利とする)
- ・ペナルティストローク戦の試合開始前にじゃんけんを行い、勝者がコートか打つ順番のどちらかを先に決める権利を得る。勝者は残った方を決める事ができる。
- ・ゲーム中のタイムアウトは、前後半1回ずつ認める。1回の時間を30秒とする。
- ・前後半でチェンジコートを行う。
- ・自由な交代とし、交代して退いた競技者も交代要員として再度出場できる。

(4) 用具

- ・スティック、ボールについては、事務局で準備した物を使用する。
- ・スティックはプラスチック製で黒、白。ブレード部に靴下を装着した物を使用する。ボールは白色の物を使用する。

6 その他

- ・ユニフォーム(ゼッケン等)は、各チームで用意すること。
- ・審判は外部審判にて実施する。
- ・ペナルティストロークの場合や、審判が必要を認めた場合以外はタイマーを止めない。
- ・報道等配慮が必要な選手には、腕に赤テープを貼り付けること。
(テープは各校で用意する)
- ・ゲームについての詳細は、別紙を参照のこと